

2026年5月19日

各位

ソアー、山形大学の超小型人工衛星「ベニバナ・サット」プロジェクトに参画 ～構造設計および宇宙環境試験解析・評価技術を提供～

サクサグループで有機ELデバイス、開発・製造受託サービスを提供する株式会社ソアー（以下、ソアー）は、山形大学が推進する超小型人工衛星「ベニバナ・サット」プロジェクト*¹に参画しています。



山形県産業科学館に展示された「ベニバナ・サット01号 地上試験モデル*²」

本プロジェクトは、1Uサイズ（10cm四方）の超小型人工衛星の開発・製造を行い、2028年に打ち上げを目指すものです。ソアーは地域企業として、長年培った設計・製造ノウハウを活かし、小型人工衛星の構造設計ならびに真空・振動等の過酷な宇宙環境を想定した試験解析および評価技術を提供しています。

今後は、電源・通信・制御システムを含む人工衛星全体への技術サポートも視野に入れ、地域における宇宙産業のサプライチェーン構築と宇宙機器開発の技術基盤を確立し、超小型人工衛星の開発・評価・製造受託サービスの事業化を目指します。

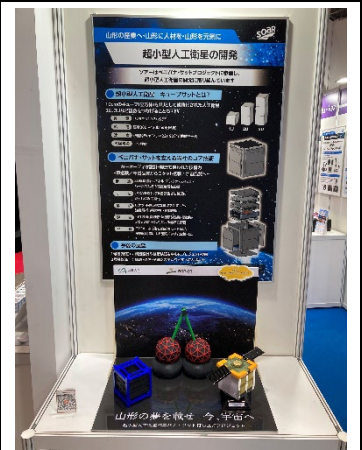
■ 用語解説

*¹ ベニバナ・サットプロジェクト：（一財）森の学校の寄附により運営される山形大学「ソーシャル・イノベーションDX寄附講座」の産業創出の取り組みとして推進する、超小型人工衛星の開発・製造・運用プロジェクト。公式Webサイト：<https://benibanasat.org/>

*² 地上試験モデル：打ち上げ前の評価に用いるモデル。人工衛星の構造を視覚的に伝える役割を持つ。

【これまでの主な活動状況】

2025年9月	本プロジェクトに参画
2026年1月	東京ビッグサイトで開催された展示会「インターネットコン・ジャパン」においてモックアップ展示し、産学連携による開発状況を発信。
2026年 4月29日(水) ～5月6日(水)	ソアーが開発に携わった「ベニバナ・サット 01号 地上試験モデル」が山形県産業科学館で特別展示。



モックアップ展示

【株式会社ソアー 会社概要】

社名 : 株式会社ソアー (SOAR CORPORATION)
 所在地 : 〒992-1128 山形県米沢市八幡原四丁目 3146-7
 代表者 : 代表取締役会長 社長執行役員 八巻 雅敏
 事業内容 : 有機ELデバイス (ディスプレイ/特殊光源等) の開発・製造・販売ならびに
 開発・製造受託サービス (ODM/EMS) の提供
 資本金 : 3億100万円
 設立年月日 : 2022年1月14日

<報道機関からのお問い合わせ先>

株式会社ソアー デバイス/EMS 事業推進室 : 倉 (くら)、會田 (あいた) TEL : 0238-28-7825

サクサ株式会社 経営企画部 コーポレートコミュニケーション G : 清水 (しみず)、中坪 (なかつぼ) TEL : 03-5791-5586